



大泉橋戸公園の田んぼで、待望の稲刈り！

～昔の風景を復元した「橋戸田んぼ」で小学生が収穫体験～

と き	平成 26 年 10 月 15 日（水）9:00～9:30 橋戸小学校 平成 26 年 10 月 17 日（金）10:30～11:30 大泉第一小学校・大泉北小学校
と ころ	練馬区立大泉橋戸公園（練馬区大泉町 2 - 9 - 3 4）

15 日（水）、17 日（金）の 2 日間、練馬区立大泉橋戸公園の水田で、周辺の小学校 3 校の 5 年生計 231 人が、6 月に植えた稲の収穫を体験した。

田んぼは、「橋戸田んぼ」として親しまれた地域の風景の復元を望んだ周辺の小学校や地域団体の強い要望を受けて区が整備したもので、管理運営は、地域団体の「橋戸水田自主管理会」が行っている。

児童たちは、管理会から説明を受けた後、鎌を手にし、稲刈りを体験した。収穫したお米は、後日調理し、味わう予定。



【稲刈りをする大北小の児童】

【橋戸田んぼの稲作風景を小学生が再現！】

練馬区立大泉橋戸公園の「田んぼ」は、園内に残る弁天池の湧水を活用し、かつて白子川流域で行われていたものを復元整備したもの。

水田面積は 230 m²で 6 枚の田んぼに分かれている。平成 24 年度から周辺の大泉第一小学校、大泉北小学校、橋戸小学校の児童が毎年稲作体験を行っており、同校の児童らは今年 6 月に田植えを体験している。

今回は、15 日（水）に橋戸小 59 人、17 日（金）に大泉第一小 61 人、大泉北小 111 人が稲刈りを体験した。

子供たちは管理会の方から説明を受けた後、鎌を手に田んぼに入り、見事に黄金色に実った稲の収穫を体験した。稲刈り体験を行った子供たちは「稲を刈ったらいい匂いがした」「自分で収穫したお米を早く食べたい」などと話していた。

また、田植え以降、除草、防鳥ネット張り、毎日の水量調整をしてきたという「橋戸水田自主管理会」の会長は、「今年は水量調整で工夫したおかげか、豊作でした。田んぼの管理は大変だけれど、稲刈りした時の子供たちの輝く笑顔に苦労も吹き飛ばしますね。

体力が続く限り、今後も続けていきたいです。」と話してくれた。



【管理会の説明を聞く大一小児童】



【刈った稲を干す橋戸小児童】

【田んぼの生き物たち】

10 月上旬の移動教室で既に稲刈りを体験したという橋戸小の 5 年生は、手慣れた様子で作業を進めながら、田んぼの生き物たちに関心が行く様子。「こんな大きなカマキリがいた」「こっちにはカエルが」と様々な生き物を手に、寄り集まっていた。管理会のメンバーの一人は、「始めた当初は、こんなには生き物がいなかった。年々増えてきているようです。田んぼの環境が整ってきているんでしょうね」と、実感を語ってくれた。